



All
On
Line

インクルーシブデザイン

アイデアソンワークショップ2020

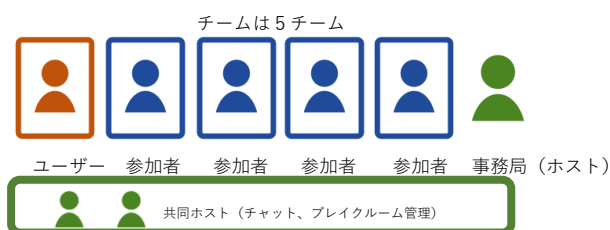
インクルーシブデザインは多様な人々をデザインプロセスの上流から巻き込む手法です。今回は障害を持ちながら社会で活躍されている「センシティブユーザー」と共に日常生活をオンラインで共有しながら、課題発見からソリューション提案まで2日間のワークで行います。テーマは「POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN」～with コロナと言われても、ユーザーの本音と未来のデザイン～とします。ユーザーと本音で新生活様式をデザインします。

「開催形式」

参加者は1人のユーザーに対し4名のメンバーで進めます

座学やユーザー観察はZOOMを使用し、チームディスカッションはブレイクルームで行います

チーム発表は23日当日に発表します。



× 5 チーム

※Zoomはテレビ会議と同様に映像と音声を使って、社外にいる相手とのコミュニケーションを可能にし、ビジネスシーンでの機能が搭載されたツールです

12日(土)のスケジュール

- 11:30 ZOOMオープン (接続確認)
- 11:50 全員ZOOMに集合
- 12:00 ワークショップ開始
- 12:00 インクルーシブデザイン事例紹介/ユーザー紹介
- 13:25 各チームに分かれチームビルディング (自己紹介/ミニゲーム)
- 14:10 全体でミニゲーム結果共有
- 14:20 各チームに分かれユーザーとディスカッション
- 16:30 各チーム中間発表
- 17:30 今後の進めかた
- 17:45 次回までの役割分担
- 18:00 終了

※ZOOMの接続テストを開始30分前から行なってください。

(順番に承認していくため、少しお待ちいただく場合があります。)

※Wi-fi環境によっては十分な通信ができない場合がありますので通信環境の良い場所で接続をお願いします。

23日（水）のスケジュール

- 12:50 ZOOM集合
- 13:00 ワークショップ開始（前回の振り返り）
- 13:30 各チームで資料作成／発表準備
- 16:00 発表（各チーム10分発表）
- 17:00 質疑／ユーザーさんからのコメント
- 17:30 まとめ
- 17:45 終了

※発表の仕方 パワーポイントまたは KyeNote 10枚程度

※上司の見学の方

事前にインクルーシブデザインネットワークの以下URLより申込（12/18締切）

<https://incl-design.net/ideathon2020attendees/>

最終発表例

①ユーザー紹介

一緒に取り組んだユーザー



芹沢さん & 小林さん

- ・芹沢さんは四肢麻痺のため車いす
- ・小林さんは芹沢さんのヘルパーであり恋人
- ・二人の趣味は旅行
- ・ダイビングや夏の音楽フェスへ参加するアクティブな人物

④具体的な提案



⑤想定価格

部品価格と人件費を算出した価格		
スマートフォンアプリとの連携を想定		
モーター（電動自転車用）	¥4,990x2	https://www.monotaro.com/p/0103429/
Bluetoothモジュール	¥1,000~3,000	http://inklideshi.com/catalog/csb/
制御部品（マイコン）	¥2,780	http://inklideshi.com/catalog/p/M-2009/
+ 電動自転車用バッテリー	¥10,000~	Amazonより
小計	¥23,760~25,770	
+ 筐体作成費用/個	¥2,000	
	¥25,760~27,760	

②着眼した課題

アイデアの着眼点



2人の移動の様子を振り返ると

- ・斜め後ろで片方のグリップを持って歩くことも
- ・押すために常に後ろにいるのではなく横並びで歩く様子も頻繁にある

⑥今後の検討

検討課題	
技術的な裏付け	ディスプレイの耐久性、巻き取り収納への適性。
文字の視認性	フォント、サイズ、流れる速度、色、シンボルマークの検証。
適切なサイズ・重量	長時間持つ事に配慮したサイズ・重量。

③アイデアの方針

アイデアの方針



車いすの操作を楽にし、横に並んで会話や景色を楽しみながら移動する体験



海難の脅へたい実分たな...
入りやすいお店もあるかな

移動しやすさを...
振りやすい形、長さ

歩きやすい靴も...
歩きやすい靴も

開催期間

12月12日（日）12時～18時、12月23日（水）13時～17時45分